

中小企業景況調査結果(平成27年7~9月期)

中小企業の業況は、緩やかに回復している

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成27年7~9月期実績と平成27年10~12月期見通しについての調査結果(回答数86社、回答率86%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

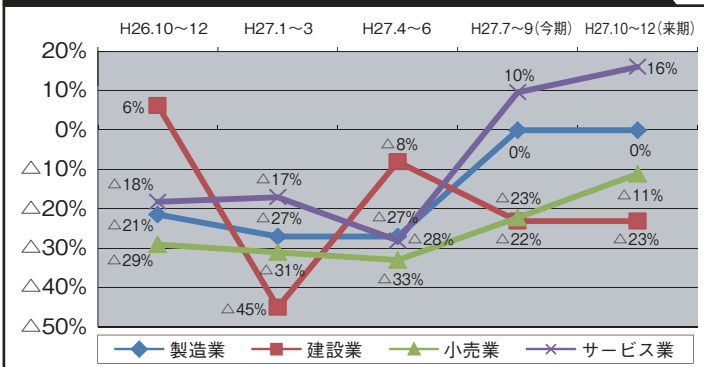
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲27%から▲8%とマイナス幅が縮小した。業種別にみると、建設業が▲8%から▲23%に低下、製造業が▲27%から0%に、小売業が▲33%から▲22%にそれぞれ上昇した。サービス業が▲28%から10%に上昇し、来期はさらに改善することが見込まれており、消費税増税後の需要停滞の反動もあり大幅に回復している。個人消費は、天候不順の影響がみられているが、全体としては持ち直しつつある。従業員数は緩やかに改善されているが、製造業は▲20%と横ばいで、必要な人員が集まらないなど人手不足感が続いている。

経営上の問題点については、全業種とも「需要の停滞」を挙げており、今期も解消されていない。サービス業は、新規参入業者の増加が問題となっている。また、建設業は熟練技術者や従業員の確保難を挙げる企業が多く見られ、製造業同様厳しい状況が続いている。

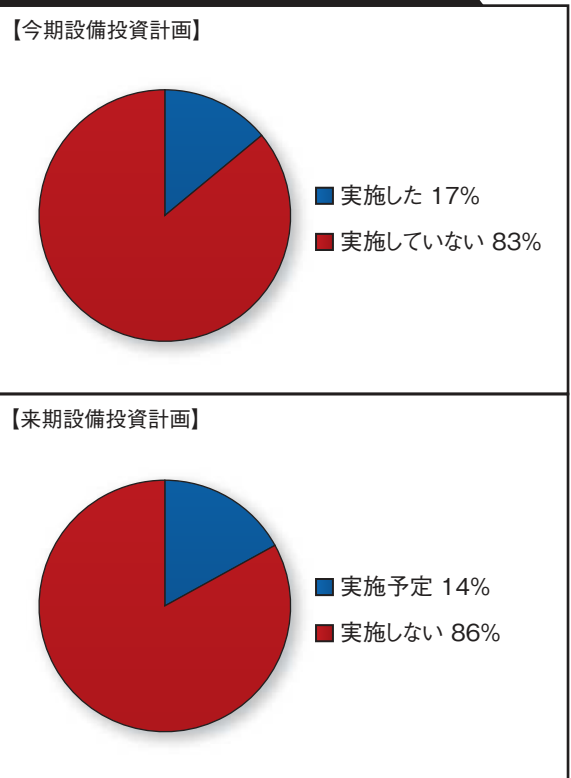
◆業況DI値(今期の状況)

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△8%	↗	△12%	↗	△6%	↗	37%	↗	△2%	↗	△4%	↗
製造業	0%	↗	△17%	↗	9%	↗	67%	→	0%	↗	△20%	→
建設業	△23%	↘	△15%	↗	△8%	↗	23%	↘	△15%	→	8%	↗
小売業	△22%	↗	△19%	↗	△11%	↗	41%	↗	△15%	↗	0%	↗
サービス業	10%	↗	△3%	↗	△3%	↗	24%	→	16%	↗	△10%	↗

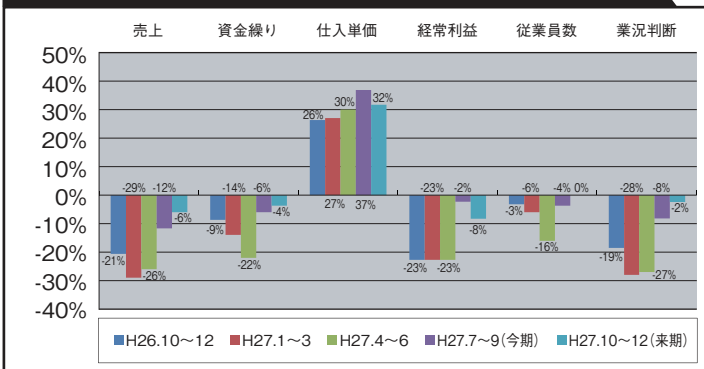
◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)



◆新規設備投資(今期実施・来期計画)



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 28.6%	民間需要の停滞 19.4%	需要の停滞 22.4%	需要の停滞 13.5%
2位	原材料価格の上昇 28.6%	熟練技術者の確保難 16.7%	購買力の他地域への流出 14.9%	新規参入業者の増加 12.2%
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難 10.7%	従業員の確保難 11.1%	消費者ニーズの変化への対応 13.4%	従業員の確保難 12.2%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。